マルチプロトコル モニタ ソフトウェア

LANWatch Network Analyzer Ver.4.0

LANWatchは、ネットワーク管理者やシステムインテグレーター、ネットワーク機器又はネットワークソフト開発者が、各種管理や解析を行う際に有効なツールとなります。例えば、ネットワーク管理者が障害時に不正パケットを送出している機器を特定するのに使用したり、ネットワークソフト開発者が動作確認のためコネクションの様子を監視するなどのデバックツールとして使用することができます。
LANWatchは、DOS上で動作し、各種ドライバー対応のLANアダプター上で動作します。また、ソフトのみのパッケージで容量も小さく、フロッピーディスクへのインストールもできますので、専用の機器を用意するなどの高価な投資を必要としません。

特長 仕様

LANWatch Network Analyzer for DOS Ver4.0

コード：------ 販売終了

特長

- リアルタイムでネットワークの状態をモニターできるマルチプロトコル・モニターソフトウェア
- 捕捉パケットの色別表示によりプロトコルタイプの確認が容易
- TCP/IP-Suite , NetWare , Appletalk , OSI , SNA , SMB , NetBEUI , VINES 等 60 種以上のプロトコルの詳細表示が可能
- RAM内へのパケットバッファリングにより、取りこぼしのない確実なモニターを実現
- コンベンショナルメモリー、EMSメモリーの併用により多量のパケットをバッファ可能
- 400種以上の条件設定による8種類のフィルター機能により、障害時などの問題を究明、切りわけが容易
- 統計機能によりネットワークトラフィックの監視にも有効
- IBM PCまたは互換機と MS-DOS上で動作（PC 資源の有効利用を実現）
- PD, NDIS, ODIサポートの LANアダプターを使用するので、既存の LANアダプターを利用可能
- フロッピーへのインストールも可能なため、現場にフロッピーのみを携帯して使用することも可能
- マウスサポートにより操作性に配慮

▲TOP

仕様

正式名称、バージョン	LANWatch Network Analyzer for DOS バージョン 4.0	
動作環境	パソコン	: IBM PC-AT（互換機を含む）、AX規格パソコン
	OS	: MS-DOS Ver.3.3以上（AX DOSはVer.3.21以上）
	LANドライバーI/F	: PD※,NDIS,ODI※※
	必要ディスク容量	: 1.4MB以上（1.8MB以上を推奨）
	起動に必要なメインメモリー	: 450KB以上
リアルタイム表示	1行に1パケットをイーサネットタイプ毎に色別表示 プロトコル階層毎の情報を表示	
各パケットの詳細表示	プロトコルヘッダー解析表示パケット内容の16進及びキャラクターコード表示	

パケットバッファー	バッファリングするパケット長を指定可能
ディスクセーブ機能	基本メモリー、EMSメモリーにバッファリング
セーブデータ解析用プログラム	リアルタイムセーブ．メモリー上のデータをセーブ
統計機能	lw,prndmp,dred,tanaの4種を装備 総パケット数、ブロードキャストパケット数、エラーパケット数、プロトコル別
フィルター機能	パケット数、パケット長別パケット数、一定間隔毎のリアルタイムパケット数、 捕捉フィルター、表示フィルター、ディスクロードフィルター、検索フィルター、トリガ、アラーム／ 400種以上の条件でフィルタリング可能 現在設定されているフィルターを＊(asterisk) によって全てを削除 and, or オペレーションの使用が可能
拡張機能	MS-C対応開発キット：フィルター条件、認識プロトコル、解析プログラムを追加可能 ※デベロップメントキットに関してはアライドテレシスはサポートをおこなっておりません

※は拡張PDである必要があります。
※※ODIドライバーがPromiscuous modeをサポートしている必要があります。
ODI ドライバーを使用する場合には、lsl.com (米国Novell,Inc. 製) が必要です。